

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名		文化会館リニューアル事業				本年度担当課	文化推進課	
						前年度担当課	文化推進課	
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				新規・継続	継続事業	
	政策	03 歴史・文化を守り育てるまちづくり				実施計画・一般	実計計画事業	
	施策	01 文化芸術活動の推進				市単独・国県補助	市単独事業	
	基本事業	03 文化芸術施設の基盤強化				任意・義務	任意の事業	
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	一部委託	
	一般	02	01	18	文化会館リニューアル事業	事業分類	施設等整備事業	
事業計画		期間限定複数年度		事業期間	平成31年度 ~ 令和8年度			
根拠法令・条例等		PFI法						

### 1. 事務事業の現状把握【D0】

#### (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)							
文化会館は、昭和54年の建設から40年以上が経過し、老朽化が顕著である。 市民が安心安全に利用できる状態にするためには、多数の設備更新が欠かせないことから、PPP・PFI等民間活力による改修及び運営を導入する。 民間事業者を選定するにあたり、アドバイザー一業務委託を結び、設計、工事、維持管理、運営を委託する事業者を公募し、和9年4月にリニューアルオープンする。					実施方針等の公表 (6月) 現地見学会 (5・6・7月) 直接対話1回目・2回目 (7・8月) 第1回評価委員会の開催 (3月)							
										活動指標		単位
文化会館利用者数		人	57,026	113,165	202,250	0	0					
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
市民					対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
市民					人	116,982	115,700	113,710	113,018	112,237		
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
市民が安全安心に文化会館を利用できるようにする。					成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					文化会館を利用した件数		件	目標 1,150 実績 633	1,155 947	1,160	0	0
					文化会館を利用した日数		日	目標 445 実績 827	450 1,369	455	500	505
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)												
施設利用者の満足度を高めるとともに、利用者の増加を図る。					上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
					施設利用者の満足度が高い割合		%	目標 72 実績 84.9	86 83.3	86.5	87	87.5

#### (2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	6,351	0	0	0	0	
	一般財源	千円	520	18,008	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	6,871	18,008	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	17,978		
					報償費	30		
人件費	職員従事工数	人工	0	0.92	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	0	6,704	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,871	24,712	0	0	0	

**B表（事後評価シート）**

事務事業名	文化会館リニューアル事業	本年度担当課	文化推進課
		前年度担当課	文化推進課

**(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等**

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	文化会館は、開館40年が経過し、老朽化が顕著であり、大規模改修が必要となったため。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	文化会館は、佐野市で最大のホールを有する施設であり、市政におけるその重要性は変わらないものと考えられる。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	保守点検の結果からも、実際に運用している指定管理者からも、老朽化の指摘は多い。

**(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組**

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善（成果向上の見直し）	「現状維持により対象外」

**2. 事務事業の事後評価【Check】**

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	事業費の削減余地がある
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
R3年度に契約したアドバイザー業務委託により、PFI法に準じた事業手法を進めることで、各フェーズにおいて、アドバイスを受け効率的に事務処理が進められ、改修事業の予定価格算定においても、抑えることができた。			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
コロナ禍の影響があったため。		時代ニーズに合った施設のリニューアルを行い、利便性を向上させる。また、既存の事業にとらわれない新しいイベントの実施。	

**3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】**

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			事業のやり方改善（成果向上の見直し） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 アドバイザー業務委託者と連携を図り、適切な契約を結ぶ。	公募型プロポーザル方式により、事業者を選定するため、コストだけではなく、設計内容・改修方法・運営方法の提案内容を精査し、最適な事業者を選定し、長期間安定した運営による利用者増・満足度の向上に繋げる。
	中		○		
	小				
		大	中	小	
		成果向上余地			

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名 美術館維持管理事業				本年度担当課 文化推進課				
				前年度担当課 文化推進課				
政策 体系	基本目標	02 新たな流れの創造による賑わうまちづくり			新規・継続	継続事業		
	政策	03 歴史・文化を守り育てるまちづくり			実施計画・一般	一般事業		
	施策	01 文化芸術活動の推進			市単独・国県補助	市単独事業		
	基本事業	03 文化芸術施設の基盤強化			任意・義務	任意的事業		
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				事業 区 分	実施方法	一部委託
	一般	10	04	07	美術館維持管理事業		事業分類	施設維持管理事業
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成14年度 ~		市長公約	該当なし
根拠法令・条例等		博物館法 佐野市立美術館条例						
						総合戦略		該当なし

### 1. 事務事業の現状把握【D0】

#### (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)				令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)							
美術館の維持管理運営に係る諸経費				<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備の維持管理にかかる消耗品及び執務参・施設設備の維持管理にかかる消耗品及び執務参考書の購入</li> <li>所蔵作品盗難保険・受託者賠償責任保険への加入</li> <li>美術館ボランティアに対する学習会の実施</li> <li>受付・清掃・保守・警備等年間業務委託</li> </ul>							
				活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
				業務委託件数	件	12	12	12	12	12	
				修繕件数	件	3	2	3	3	3	
開館日数	日	198	229	255	255	255					
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市民及び市外からの来館者 ・美術館敷地 ・美術館施設設備 ・収蔵作品(所蔵品+寄託品)				対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
				美術館等入館者数	人	2,985	4,745	5,500	6,000	6,500	
				敷地面積	m <sup>2</sup>	4,854	4,854	4,854	4,854	4,854	
				収蔵作品数	個	1,476	1,476	1,476	1,476	1,476	
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
充分な施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、文化・芸術に触れる機会の充実を図る。				成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				不満足及び要望・希望件数/来館者数	%	目標			0	0	0
						実績	0.1	0.1			
						目標					
実績											
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)											
充分な施設の維持管理をとおして快適な環境を整備し、文化・芸術に触れる機会の充実を図る				上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				吉澤記念美術館入館者数	人	目標			5,500	6,000	6,500
						実績	2,985	4,745			
						目標					
実績											

#### (2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0			
	その他	千円	2,329	2,596	0	0	0			
	一般財源	千円	26,162	18,885	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	28,491	21,481	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					委託料	6,659				
					積立金	6,001				
				需用費	4,116					
				報酬	2,189					
				役務費	1,454					
				職員手当等	436					
				共済費	428					
		その他	199							
人件費	職員従事工数	人工	3	3	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	21,981	21,861	0	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	50,472	43,342	0	0	0			

**B表（事後評価シート）**

事務事業名	美術館維持管理事業	本年度担当課	文化推進課
		前年度担当課	文化推進課

**(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等**

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成14年6月の美術館開館に伴い、入館者が安全で快適に鑑賞できる環境を目指すため開始した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	平成14年の開館から18年が経過し、施設の維持管理は重要になっている。特に空調機器は24時間稼働でもあり、通常使用に比べて、使用年数の3倍は消耗しているといえる。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	来館者からは、静かで落ち着いた環境でよいという意見が多く聞かれる。植栽や芝・池の美観維持のため努力されたいという意見も寄せられている。

**(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組**

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持（従来通り実施）	現状維持により対象外

**2. 事務事業の事後評価【Check】**

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	

**3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】**

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中		○		
	小				
	成果向上余地				